

商 工 費

商工費の支出済額は、763,854,728円で、対前年度比220,731,409円、40.64パーセントの増で、歳出総額に対する構成比は1.49パーセントです。

7款 1項 2目 商工振興費

商工業振興事業

(商業観光課)

決算事項別明細書 259 ページ

予 算 現 額	22,127,000 円	決 算 額	21,743,538 円	
翌年度への繰越額		財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額	383,462 円		県 支 出 金	7,000 円
前 年 度 比 較	決 算 額		19,453,770 円	地 方 債
	増 減 額		2,289,768 円	そ の 他
	増 減 率	11.77%	一 般 財 源	21,736,538 円

<目的>

商工業の活性化と持続的な発展を目的に、関係団体を支援するとともに、各種施策を実施します。

<内容>

地域経済の発展と地域全般の福祉の増進を目的に設立されている商工会議所と地域の商店街が実施する事業について補助するとともに、店舗等のリフォーム費用の一部を補助することにより、商工業の振興を図ります。

<実績・成果等>

- 1 狭山商工会議所に対する助成
 中小企業者の体質強化を図る商工業振興施策を総合的に推進するため、狭山商工会議所に対し、12,700,000円の補助金を交付しました。これにより集団指導・個別指導・巡回指導・窓口相談・金融あっせん等の経営指導を促進するとともに、一般事業として青年部や女性会の活動を支援しました。
- 2 商工祭
 商工業の振興を図るために実施している商工祭を、狭山市駅西口市民広場周辺を会場に開催しました。
 来場者数 約7,000人
 出 店 者 31 (商業者20、工業者5、その他6)
- 3 店舗・住宅リフォームの補助
 市内施工業者を利用し店舗や住宅のリフォームを行った者に対して、店舗上限300,000円・住宅上限100,000円を補助しました。
 利用件数 89件 補助金額 6,162,000円

7款 1項 2目 商工振興費

企業立地促進事業

(産業振興課)

決算事項別明細書 261 ページ

予 算 現 額		40,826,000 円	決 算 額		39,318,812 円	
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金	
不 用 額		1,507,188 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額	67,364,930 円			地 方 債	
	増 減 額	△28,046,118 円			そ の 他	
	増 減 率	△41.63%		一 般 財 源	39,318,812 円	

<目的>

企業立地を促進し、産業の振興及び雇用の拡大を図り、地域経済の発展と市民生活の向上に寄与します。

<内容>

市内への立地を希望する企業に対して、立地に関する手続きの支援や既存企業が抱える課題に関する相談・支援を行います。また、企業立地奨励金等交付要綱に基づき、市内立地した事業所に対する奨励金交付を通して、企業の新規立地や既存施設の拡張を支援します。

<実績・成果等>

区 分		該 当 数	金 額
企 業 立 地 奨 励 金		10 件	39,181,000 円
そ の 他 の 助 成 金	雇 用 促 進 助 成 金	0 人	0
	正 規 従 業 員 雇 用 促 進 助 成 金	0	0
	障 害 者 雇 用 促 進 助 成 金	0	0
	女 性 雇 用 促 進 助 成 金	0	0
	社 会 進 出 応 援 助 成 金	0	0
	環 境 保 全 施 設 設 置 助 成 金	0 件	0
	水 道 利 用 加 入 助 成 金	0	0
	埋 蔵 文 化 財 発 掘 調 査 助 成 金	0	0
合 計 交 付 額		—	39,181,000

7款 1項 2目 商工振興費

インキュベーションセンター管理事業

(産業振興課)

決算事項別明細書 261 ページ

予算現額		11,571,000円	決算額		11,199,846円	
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金	
不 用 額		371,154円			県支出金	
前年度 比較	決算額	6,627,300円			地方債	
	増減額	4,572,546円			その他	2,950,800円
	増減率	69.00%		一般財源	8,249,046円	

<目的>

地域経済の活性化を図るため、狭山市地域新事業創出基盤施設(さやまインキュベーションセンター21)において、新産業の創造や新製品の開発に取り組む起業家等を支援・育成します。

<内容>

指定管理者制度を活用し、さやまインキュベーションセンター21にインキュベーションマネージャーを配置し、入居者の相談に適宜応じるとともに、入居者支援会議を定期的開催し、課題解決に向けた調整・支援を行います。また、退去後のフォローアップも行い、新事業・新商品の創出の促進を図ります。

<実績・成果等>

- 1 入居率 部屋数 8部屋×12カ月＝延べ96部屋
 年間利用部屋数 延べ72部屋
 利用率 75.0パーセント

2 事業実績

- (1) 入居者相談・指導回数 10回
 (2) 入居審査件数(更新) 3件
 (3) セミナー・研究発表会・展示会参加件数 9回
 (4) 研究開発・試作品開発中 6者

7 款 1 項 2 目 商工振興費

中小企業制度融資あっせん事業

(商業観光課)

決算事項別明細書 261 ページ

予 算 現 額		370,198,000 円	決 算 額		245,761,543 円
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額		124,436,457 円		県支出金	
前 年 度 比 較	決 算 額	195,605,136 円		地 方 債	
	増 減 額	50,156,407 円		そ の 他	
	増 減 率	25.64%	一 般 財 源	245,761,543 円	

<目的>

市内中小事業者の成長や経営安定化を図るため、融資あっせんを行います。

<内容>

市内金融機関に対して預託を行い、より低利で借りやすい制度融資の普及・あっせんに努めます。また、利子助成制度や保証料補助制度を活用し、中小企業者の経営や資金繰りの安定化を進めます。中小企業向けの制度融資の種類としては、その目的に応じ、近代化資金・商工業開発資金・小口資金・緊急特別資金・認証等取得資金があります。

<実績・成果等>

区 分	貸 付 件 数	金 額
近 代 化 資 金 融 資	0 件	0 円
商 工 業 開 発 資 金 融 資	2	18,500,000
一 般 小 口 融 資	45	219,890,000
特 別 小 口 融 資	2	13,000,000
緊 急 特 別 資 金 融 資	0	0
認 証 等 取 得 資 金 融 資	0	0
合 計	49	251,390,000

セーフティネット保証制度

年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
認定件数	1 件	23 件	1,193 件	63 件	109 件

7款 1項 2目 商工振興費

産業労働センター管理事業

(産業振興課)

決算事項別明細書 261 ページ

予算現額	106,690,000円	決算額	106,191,279円	
翌年度への繰越額		財源内訳	特定財源	
不 用 額	498,721円		国庫支出金	
前年度比較	決算額		100,246,765円	県支出金
	増減額		5,944,514円	地方債
	増減率	5.93%	その他	
		一般財源	106,191,279円	

<目的>

狭山市産業労働センターを拠点として、企業間連携等の促進や中小企業等の相談支援を行い、就労支援・勤労者福祉を推進するとともに、産業観光情報の提供等を行うことで、地域経済の活性化と市民福祉の向上を図ります。

<内容>

指定管理者制度を活用し、産業労働センター内の多目的スペース・異業種交流スペース・産業・観光情報サテライト・狭山市ビジネスサポートセンター・若者サポートステーションを運営するとともに、施設内に入居する、狭山市ふるさとハローワーク・(一財)狭山市勤労者福祉サービスセンターを活用することで、企業の経営者や従業員、求職者に対する各種サービスの提供、来館者に対する市内産業や観光情報の提供、また、中小企業等が抱える経営課題の解決及び売上力向上に向けた伴走型ビジネスコンサルティングを実施しています。

<実績・成果等>

1 施設毎の利用状況

() 内は稼働率

開所日数	利用人数			合計
	産業・観光情報サテライト	異業種交流スペース	多目的スペース	
359日	1,732人 (100%)	12,520人 (40.0%)	11,375人 (38.4%)	25,627人 (43.9%)

2 指定管理業務

- (1) 総合案内業務
- (2) 貸室管理業務
- (3) 若年者就職相談業務
- (4) 就労支援業務
- (5) 離職者支援総合相談業務
- (6) 内職相談業務
- (7) 経営支援業務
- (8) ビジネスサポートセンター業務

3 指定管理者実施事業

- (1) 産業振興事業 9事業 延べ3,304人参加
うちビジネスサポートセンター業務 293事業者 1,668件
- (2) 労働振興事業 10事業 2,444人参加
- (3) 産業観光イベント事業 5事業 2,408人参加

7款 1項 2目 商工振興費

商業支援事業

(商業観光課)

決算事項別明細書 261 ページ

予 算 現 額		8,725,000 円	決 算 額		7,473,898 円	
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金	
不 用 額		1,251,102 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額	8,003,110 円			地 方 債	
	増 減 額	△529,212 円			そ の 他	
	増 減 率	△6.61%		一 般 財 源	7,473,898 円	

<目的>

商店街等の施設維持や共同売り出しなどのイベントを支援し、安全で魅力的な商店街を形成することで、集客力を向上させ、商業活動の活性化を図ります。

<内容>

各商店会などが自主的に行っている共同施設の修繕・整備や共同売り出しなどのイベント、また、街路灯電気料に関し、その費用の1/2以内の額を補助します。

<実績・成果等>

- 1 商店街活性化推進事業費補助金
商店会が自主的に行う販売促進事業に対し、対象経費の50パーセント以内を補助しました。
4団体 1,612,000 円
- 2 商店街共同施設管理運営事業補助金
 - (1) 来客用駐車場
商店街共同施設を適正に維持するため、来客用駐車場の年間地代の50パーセントを補助しました。
2団体 1,110,000 円
 - (2) 共同施設等修繕
商店街共同施設を適正に維持するため、街路灯等の修繕費の50パーセントを補助しました。
3団体 717,000 円 (LED化)
1団体 346,000 円 (街路灯交換)
- 3 商店街街路灯等電気料補助金
商店街共同施設の適正管理を支援するため、商店会等が管理する街路灯電気料の50パーセントを補助しました。
18団体 1,664,000 円
- 4 中枢拠点活性化事業補助金
中枢拠点や地域拠点における商業の活性化を推進するため、市民団体等が実施する事業に対して、費用の一部を補助しました。
2団体 2,000,000 円

7款 1項 2目 商工振興費

工業支援事業

(産業振興課)

決算事項別明細書 263 ページ

予 算 現 額	1,095,000 円	決 算 額	418,084 円	
翌年度への繰越額		財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額	676,916 円		県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額		770,351 円	地 方 債
	増 減 額		△352,267 円	そ の 他
	増 減 率	△45.73%	一 般 財 源	
			418,084 円	

<目的>

市内中小企業が抱える様々な経営課題を把握し、必要な支援を実施するとともに、中小企業が有する先進技術のアピール、企業間連携や産学官連携の促進、関係機関との広域ネットワークによる支援を行います。

<内容>

市内中小企業の研究開発力・市場競争力・特許戦略などの向上を図るため、関係機関と連携し、企業が抱える様々な経営課題を把握し、指導・助言・情報提供などを行います。また、企業間連携や産学官連携の促進を図ります。

<実績・成果等>

- 1 首都圏産業活性化協会に中小企業経営支援相談業務委託を行い、主にさやまインキュベーションセンター21に入居する事業者等への新製品の研究開発等に係る支援を実施
相談・指導回数 11件
- 2 市内事業者への情報提供
企業支援に関する情報を市内事業者へ向けてメールで情報提供
対象 市内製造業等約 200件
頻度 1カ月に2回程度(実績数 25回)

7款 1項 2目 商工振興費

ふるさとモノづくり応援プロジェクト事業

(産業振興課)

決算事項別明細書 263 ページ

予 算 現 額		1,752,000 円	決 算 額		622,483 円	
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金	
不 用 額		1,129,517 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額	803,743 円		財	地 方 債	
	増 減 額	△181,260 円		源	そ の 他	
	増 減 率	△22.55%		一 般 財 源	622,483 円	

<目的>

市内モノづくり企業の優れた製品や技術、働く人々の熱意等の紹介を通じて、「本物づくり」の企業集積地としての本市の魅力を広く市内外へ向けてPRし、市民の地元への愛着と誇りを醸成するとともに、若い世代に向けて仕事としての「モノづくり」に対する興味や関心を喚起し、地域の活性化を図ります。

<内容>

情報冊子、Webサイトの作成、イベントの実施を通して、市内モノづくり企業の製品・技術をPRし、人材確保及び企業活動を支援していきます。

<実績・成果等>

1 モノづくり企業PRサイト 「本物づくりのまち 狭山」

- (1) 閲覧件数 13,209 件
- (2) 登録企業数 224 社

2 イベント

- (1) 商工祭工業エリアでの市内事業者のPR
 - ア 日 時 令和4年10月16日(日)
 - イ 会 場 狭山市駅西口 街角広場
 - ウ 参加企業 5社
 - エ 参加者 商工祭全体で合計延べ約7,000人
- (2) サヤマ・ジョブマーケット in 狭山工業高校
 - ア 日 時 令和5年3月15日(水)
 - イ 会 場 埼玉県立狭山工業高等学校
 - ウ 参加企業 21社
 - エ 参加者 330人
- (3) 本物づくりのまち狭山企業合同就職面接会
 - ア 日 時 令和4年10月17日(月)
 - イ 会 場 狭山市市民交流センター コミュニティホール
 - ウ 参加企業 9社
 - エ 参加者 14人
 - オ 就職者 6人

7款 1項 2目 商工振興費

コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策事業

(産業振興課)

決算事項別明細書 263 ページ

予算現額		34,900,000円	決算額		24,935,000円		
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金	24,935,000円	
不 用 額		9,965,000円			県	支出金	
前 年 度 比 較	決算額	0円			地	方 債	
	増減額	24,935,000円			そ	の 他	
	増減率	皆増		一	般 財 源		

<目的>

コロナ禍において、原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担軽減を図ります。

<内容>

原油価格高騰により中小企業のさらなる経営悪化が予想される中、課題となっている売上増進や雇用確保に集中的な支援を行うために、狭山市ビジネスサポートセンターにおいて、令和4年8月から令和5年1月(6ヶ月)までの期間限定で、雇用及びブランディングに関するアドバイザーを増員する、「事業者応援! Saya-Biz 相談支援体制強化事業」を実施します。

また、原油価格高騰の影響を受けており取引価格へ価格転嫁することが困難な市内運送事業者の事業継続を支援するため、一般貨物自動車運送事業・特定貨物自動車運送事業の許可を受けている事業者等へ、事業用貨物自動車は15,000円/台、事業用貨物軽自動車は5,000円/台の支援金を交付する、「事業者応援! 運送事業者支援金事業」を行います。

<実績・成果等>

1 事業者応援! Saya-Biz 相談支援体制強化

個別相談 開催回数 延べ24回
セミナー 開催回数 2回
参加者数 延べ57人

2 事業者応援! 運送事業者支援金

交付事業者数 75社
支給対象台数 事業用貨物自動車1,460台、事業用貨物軽自動車187台
交付額合計 22,835,000円

7 款 1 項 2 目 商工振興費

コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策事業

(商業観光課)

決算事項別明細書 263 ページ

予 算 現 額	172,000,000 円	決 算 額	160,962,420 円	
翌年度への繰越額		財 源 内 訳	特定 国庫支出金 160,962,420 円	
不 用 額	11,037,580 円		特定 県支出金	
前 年 度 比 較	決 算 額		0 円	地方債
	増 減 額		160,962,420 円	その他
	増 減 率	皆増	一般財源	

<目的>

コロナ禍において、原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担軽減を図ります。

<内容>

生活応援！さやまプレミアム付チケット事業を実施します。対象者は、1セット13,000円分の商品券を10,000円で購入（2セットまで）することができ、登録店舗にて使用することができます。

<実績・成果等>

販売実績 インターネット及びハガキによる抽選販売 39,998セット
 額 面 1セット13,000円分（1,000円券10枚、500円券6枚）
 販売価格 10,000円
 プレミアム率 30パーセント
 発行総額 520,000,000円（40,000セット）
 購入限度 1人2セットまで
 対象者 市内在住者
 使用期間 令和4年10月1日から令和5年2月28日まで
 登録店舗 445店舗

業 種	小 売	飲 食	サービス	そ の 他	合 計
店 舗 数	257 店舗	102 店舗	63 店舗	23 店舗	445 店舗
構 成 率	57.8%	22.9%	14.1%	5.2%	100%

使用状況

使用額：518,785,500円（換金済み金額）
 使用率：99.7パーセント

種 別	使用（換金）額	比率
小 売	455,803,000 円	87.8%
飲 食	52,788,000	10.2
サービス	7,679,500	1.5
そ の 他	2,515,000	0.5
合 計	518,785,500	100

7 款 1 項 3 目 観光費

入間川とことん活用事業

(商業観光課)

決算事項別明細書 263 ページ

予 算 現 額		14,754,000 円	決 算 額		13,114,617 円	
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金	
不 用 額		1,639,383 円			県支出金	
前 年 度 比 較	決 算 額	10,906,517 円			地 方 債	
	増 減 額	2,208,100 円			そ の 他	
	増 減 率	20.25%		一 般 財 源	13,114,617 円	

<目的>

入間川左岸（新富士見橋と昭代橋の間）に位置する「入間川にこにこテラス」において、賑わいの創出及び公園の維持管理を図ります。

<内容>

入間川にこにこテラスを安心・安全・快適に利用できるように、施設管理、除草等の環境整備を行うとともに、官民が連携して、ソフト事業を実施します。

<実績・成果等>

1 入間川にこにこテラス活性化事業の実施

入間川にこにこテラスにおける課題の抽出やニーズを把握することを目的として事業を実施しました。

- ・実施期間 令和4年6月8日から11月30日まで
- ・来客数 4,208人 ※来客数はレジ客数から算出

2 狭山市入間川河川敷利用調整協議会による事業の実施

武蔵野学院大学と共催にてイベントを実施。市内の事業者や市民団体等とも連携を図ることにより、賑わいの創出に寄与しました。

- ・事業名 にこにこ天の川フェスティバル
- ・日時 令和4年7月9日 11時から16時まで
- ・出店事業者数 25事業者

7 款 1 項 3 目 観光費

観光振興事業

(商業観光課)

決算事項別明細書 265 ページ

予 算 現 額		31,853,000 円	決 算 額		29,797,214 円	
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金	
不 用 額		2,055,786 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額	5,776,531 円		財	地 方 債	
	増 減 額	24,020,683 円		源	そ の 他	
	増 減 率	415.83%		一 般 財 源	29,797,214 円	

<目的>

本市の魅力向上のため、地域の観光資源を有効活用し、各種観光事業を推進することにより、市民の郷土愛の醸成を図るとともに交流人口の増加を目指します。

<内容>

狭山市観光協会が行う観光振興事業(狭山市入間川七夕まつり等)に対して、その事業費の一部を補助します。

<実績・成果等>

1 狭山市観光協会に対する補助

本市の観光事業を総合的に推進する組織である狭山市観光協会に対し、補助金を交付し、活動を支援しました。また、狭山市観光協会と連携し、ホームページ等を通して観光情報の提供とPRを行いました。

観光協会実施事業 (一部)

- (1) 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」スペシャルトークショー
- (2) 旅して埼玉狭山市バスツアー
- (3) 狭山市駅西口市民広場イルミネーション点灯事業
- (4) 早春の狭山ウォーク
- (5) ニジマス釣り

2 狭山市入間川七夕まつり

歴史と伝統ある狭山市入間川七夕まつりは、地元商店街及び事業所並びに各種団体等の協力のもと、令和4年8月6日(土)、7日(日)の2日間開催されました。

飾り出展数

竹飾り：50本 やらい飾り：46本 合計：96本